

企画展

宮本三郎

# 美の追求

2021年

9/25

土



11/3

水祝



《婦女三容》1935年

入館無料

休館日: 月曜日

開館時間: 9時～17時(入館は16時30分まで)

新型コロナウイルス感染状況により会期や開館時間に変更の可能性があります

小松市立



宮本三郎ふるさと館

[HP]

〒923-0982 石川県小松市松崎町16-1

TEL 0761-43-3032



# 宮本三郎 美の追求

宮本三郎は、1905（明治38）年に小松市松崎町で生まれました。17歳で上京後、藤島武二、安井曾太郎らに師事し、若くして画家としての頭角を現します。30歳で世田谷区奥沢にアトリエを構え、そこでの第1号作品となった《婦女三容》は「第22回二科展」で推奨を受け、初期の代表作と位置づけられています。戦中は、従軍画家として戦争記録画を描き、戦後、抽象絵画が日本の美術界を席卷した時は、宮本も試行錯誤しながら抽象的な表現に取り組みました。暗中模索の長い期間を経て、1967（昭和42）年頃から宮本の作品は、生き生きとした華麗な色彩が画面を占め、ナイフは使わず、筆のみの軽やかで踊るような筆致で描かれるようになります。宮本は晩年、この時期をふり返り作画の上で真の解放感と「生の喜び」とが一つになったことを、はっきりと意識できるようになったと語っています。

本展は、初期から晩年の作品を一堂に展示し、宮本三郎の美の追求の変遷をご紹介します。



1



2



3



4



5



6

1.《花》1932年頃 2.《百花繚乱》1970年 3.《流水（犀川）》1959年 4.《溪流》1959年 5.《霧の朝（柴山湯）》1946~47年頃 6.《横臥裸婦》1959年

同時開催

本館・宮本三郎美術館

2021  
ビエンナーレ  
いしがわ秋の芸術祭  
第6回 宮本三郎記念  
Komatsu  
Biennale  
2021  
デッサン大賞展  
明日の表現を拓く

小松展 9月25日(土)~11月3日(水・祝)

小松市立宮本三郎美術館  
〒923-0904 石川県小松市小馬出町5  
TEL: 0761-20-3600

口入館料 / 一般 300 (250) 円

※こまつミュージアムバス対象施設 ※高校生以下は無料

※( )内は20名以上の団体料金

※障がい者手帳持参者及び「ミライロID」アプリ提示者と介助者1名は無料 【デッサン大賞展HP】

口開館時間 / 午前9時~午後5時 (入館は4時30分まで)

口休館日 / 会期中無休

新型コロナウイルス感染状況により会期や開館時間に変更の可能性があります



大賞 吉成 文男 <パラダイス21A>



小松市立

宮本三郎ふるさと館

〒923-0982 石川県小松市松崎町16-1 / 電話: 0761-43-3032

次回予告 会期: 11/13 (土) ~ 令和4年3/6 (日)

宮本三郎ふるさと館 人を描くとき~宮本三郎の人物画~  
宮本三郎美術館 かわいい♡コレクション展